

平成29年10月22日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙 (大阪府第2区) 選挙公報

大阪府選挙管理委員会

強い日本、強い経済

この国を愛い
この街を思う

●一億総活躍社会へ

- ①過重労働の解消、テレワーク、賃金引上げなどを含む「働き方改革」
- ②後継者や専門職業者などを含む「人材育成への投資」と若者の就労ミスマッチの解消
- ③女性や高齢者が輝く社会
- ④結婚・子育て支援

●外交力と確かな安全保障

- ①国民の生命・財産・領土を断固として守るために、外交・防衛力の更なる強化
- ②日米同盟を基軸にした安全保障、アジア諸国・豪州・カナダ等との連携

●強い経済

- ①アベノミクスで実感できる好景気の持続
- ②中小企業や小規模事業者への税制改正と融資強化
- ③AI-IoT-ICTの更なる進化と活用

●教育再生

- ①0才~5才児までの保育・幼児教育の無償化と環境の改善
- ②高等教育への給付型奨学金などの拡充
- ③子どもたちの職業体験やインターンシップの充実
- ④大学改革

●活気に満ちた大阪

- ①2025年大阪万博の実現
- ②企業誘致の促進
- ③新規にわが筋線の早期実現
- ④JR大和路線の高架化
- ⑤大和川の護岸の更なる強化と水質改善
- ⑥かん対策や再生医療を充実させ
- ⑦リニア・北陸新幹線の早期着工

●災害対策・国土強靭化

- ①南海トラフ巨大地震などに対応できる防災・減災対策
- ②東北・九州の復旧・復興の促進

●安心できる医療・介護の充実と年金の確保

- ①持続可能で安心できる社会保障制度の確立

- ②医師・看護師・介護福祉士不足の解消

●資源国家・日本へ

- ①再生可能エネルギーの拡充
- ②メタンハイドレートやレアメタルなどの海洋資源の開発

●国民本位の政治の実現

- ①地域主権型地方自治の確立
- ②地方創生の促進
- ③憲法改正(自衛隊の明記など)

推薦人 (自民党総裁)

(自民党幹事長)

(自民党政務調査会長)

(政治評論家)

(軍事アナリスト)

(復興アドバイザー)

安倍晋三

二階俊博

岸田文雄

森田実

小川和久

水谷修

大阪2区(生野区・阿倍野区・東住吉区・平野区)

自民党公認・公明党推薦

左藤 章

さとう あきら



自民党

日本維新の会公認

たもつ

しげき保

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版で印刷したものです。)

消費税増税凍結

身を切る改革で教育無償化

教育無償化で景気回復

人口減少が加速化する日本。しかし、社会の仕組みは人口増加が続いている時代とはほとんど変わっていません。国の予算も「右肩上がり」の時代が続いているかのように年々増加していますが、予算の約半分は借金に頼っているのが現状です。時代の大きな転換点にあって、今こそ前例にとらわれない大改革(グレーーティセット)が必要です。しいき保と日本維新の会は、従来の発想を超えた視点(新維新八策)で新しい日本を拓きます。

ブレない。

何があっても

立憲民主党 おつい 尾辻かな子



プロフィール

元参議院議員。元大阪府議会議員。1974年生まれ。同志社大学商学部卒業。社会福祉士、介護福祉士、MSW(メディカル・ソーシャル・ワーカー)、専門職年後見人。一般社団法人 LGBT 政策情報センター代表理事。日経ビジネス「2014 日本の主役100」に選ばれる。空手道二段、テコンドー初段。

立憲民主党公認 候補

大阪府第2区(生野区・阿倍野区・東住吉区・平野区)

4つの政策 POLICY

格差と闘う

誰も置き去りにしない

1 支えあう社会をつくる
社会を包括ケアを
真の地域包括ケアを
保育士・介護士等の待遇改善

2 自己責任にさせない社会
幼稚園教育・保育の無償化
大学教育の無償化と自己負担軽減

あなたの一票で未来と一緒に変えましょう!
社会へ。

3 平和主義、立憲主義を守る
憲法違反の
安全保障法制を廃止する

4 地域の元気を応援する
中小企業の
社会保障費負担の軽減



http://www.otsuji.club

おついかなこ 検索

投票日▶10月22日(日)
投票時間▶午前7時から午後8時まで

投票日に仕事や用事のある方は、10月21日までの午前8時30分から午後8時までの間(土曜・日曜を含む)、市区町村選挙管理委員会で期日前投票(又は不在者投票)ができます。(ただし、投票所により、日時が異なる場合があります。)

なお、都道府県選挙管理委員会が指定する病院や老人ホーム等に入院・入所中の方は不在者投票ができます。

視覚に障がいのある方は、点字で投票できます。投票所の係員に申し出てください。

病気やけがなどで字が書けない方は、係員が代わって投票を記載する代理投票の制度があります。投票所の係員に申し出てください。

投票日に投票所において手話通訳が必要な方は、事前に市区町村選挙管理委員会に申し出てください。

期日前投票
及び
不在者投票

点字投票

代理投票

手話通訳

小選挙区選挙

候補者氏名で投票します



比例代表選挙

政党等の名称又は略称で投票します



衆議院の選挙制度

選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられました!